

沖縄鉄軌道構想段階PI

# おきなわ鉄軌道ニュース

2015年  
**第3号**  
沖縄県企画部

鉄軌道を含む新たな公共交通システム(以後、鉄軌道という)に関する

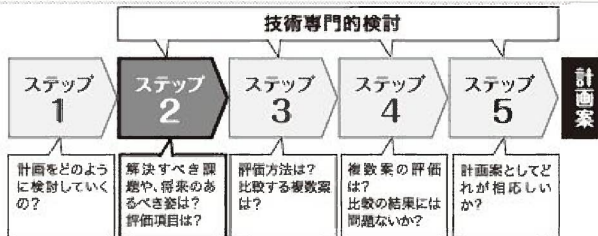
**あなたのご意見お聞かせください!**

8ページ(最後のページ)にあるアンケートに答えてね!



\*\*\*\*\*  
 < 那覇～名護間を1時間で結ぶ鉄軌道の導入に向けて >  
 ・沖縄県は、平成26年10月から鉄軌道の計画案づくりをスタート  
 ・ステップ1として、平成27年1月に計画案づくりの「進め方」を決定  
 ★1月から「進め方」に基づき、ステップ2の検討をスタート  
 ★3月から専門家による審議を開始  
 \*\*\*\*\*

## ステップ2を実施中



### ステップ2で検討する内容

- ・陸上交通の現状と課題、将来あるべき姿とは?
- ・将来あるべき姿を実現するために対策は必要か?
- ・対策を考える場合、どのような視点を評価項目とし設定する必要があるか?

## 専門家による審議が行われています



平成27年3月17日(金)に第1回技術検討委員会、4月6日(月)に第1回計画検討委員会が開催され、沖縄の陸上交通の現状・課題などについての審議が行われました。

委員からは、

- ①鉄軌道導入の前提として、県民が自動車からバスなど公共交通への転換を本気で進める必要があることも共有すべき。
- ②那覇と名護が1時間圏域になれば北中南部が一つの都市圏となり大きなインパクトとなるなどの意見がありました。

## 沖縄にも鉄道があったことをご存知ですか?

### 沖縄県軽便鉄道

- 沖縄県軽便鉄道(県営鉄道)は、今から100年前(大正3年)に那覇～与那原間が開業、その後開業した那覇～嘉手納間(大正9年開業)、那覇～糸満間(大正12年開業)の3路線の総延長は約48キロメートルで営業されていました。
- 乗客数は開業当時(大正4年度)は約43万人でしたが、昭和16年度には300万人超の利用がありました。しかし、戦災のために壊滅しました。



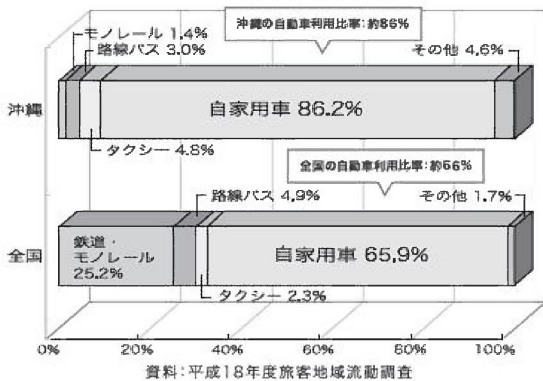
おきなわ鉄軌道ニュースは、鉄軌道の計画案づくりの検討状況をお伝えするため、県民のみなさまに配布しています。今後も検討状況に合わせて、継続的に発行していく予定です。

# 1. 陸上交通の現状・課題につ

## ～ 沖縄の陸上交

### 全国平均よりも高い自動車利用率

自転車を除く交通機関の利用者のうち、約86%が自動車を利用しています。これは全国平均(約66%)を大きく上回る水準です。



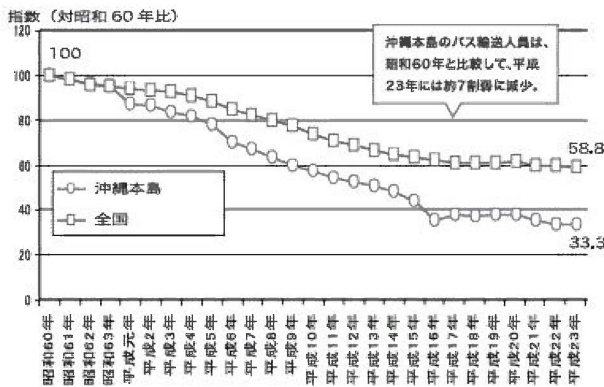
### 慢性的な渋滞

那覇市における一般道路(高速道路は含ません)の平均的な速度は、東京23区や大阪市、名古屋市と比べても遅いです。



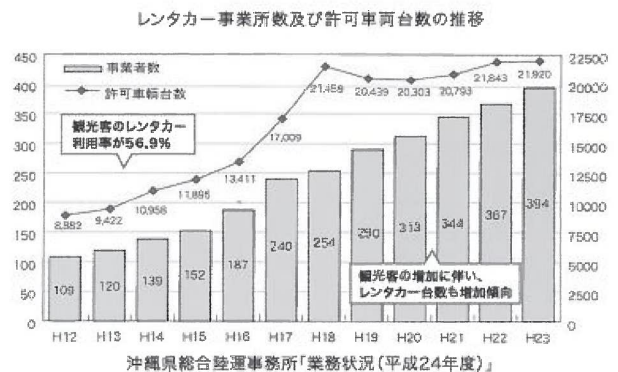
### バス利用者数が減少

バス利用者(輸送人員)は全国と比べても大きく落ち込んでいます。



### レンタカーの増加

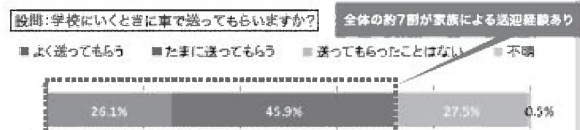
観光客の増加に伴いレンタカー利用も増加しています。



### ★専門家からの一言★

- 現在は、バスとバス、モノレールとバスなどの公共交通の乗り換えが不便。
- 沖縄県民は通学時における車での送り迎えが多く、自動車に頼りすぎている。
- 県民一人一人が公共交通を利用する意識づくりが必要である。

小学生4年生から高校生の通学時における自動車による送迎の割合



那覇市、浦添市、宜野湾市、沖縄市の小学校4年生から高校生約8万人を対象にしたアンケート調査によれば、学校に行くときに車で「よく送ってもらう」が約26%、「たまに送ってもらう」が約46%で、全体の約7割以上が家族による自動車での送迎をしてもらっていると回答しています。

出典: TDM施策推進アクションプログラム(平成25年3月)

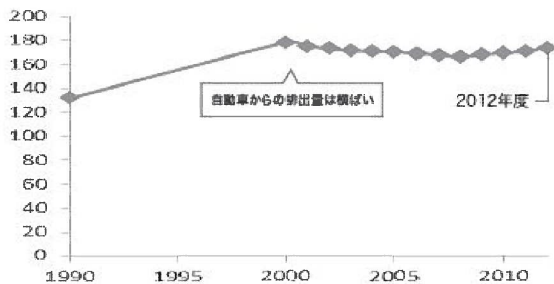


# いて一緒に考えてみませんか？

## 通の現状・課題～

### 自動車による地球環境負荷の増加

自動車の燃費は向上していますが、二酸化炭素排出量は横ばいです。



資料：沖縄県地球温暖化対策実行計画進捗管理報告書  
平成26年3月 沖縄県環境政策課

### 観光振興において求められる交通の改善

観光客は、沖縄の「交通渋滞」、「交通・移動の不便さ」に対して改善を求めています。

【質問】改善した方が良いと思うのは  
どんなことですか？(3つまで選択可)

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1 交通渋滞      | 36.0% |
| 2 交通・移動の不便さ | 20.4% |
| 3 米軍基地      | 18.4% |
| 4 運転マナー     | 17.6% |
| 5 海の中の自然破壊  | 17.6% |
| 6 海・ビーチの汚れ  | 9.6%  |
| 7 客引き・接客マナー | 8.8%  |

出典：沖縄21世紀ビジョン  
(観光客アンケート概要より)

【質問】沖縄をもっと魅力的にするために  
必要なものは何だと思いますか？

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1 自然を守り続けること   | 61.6% |
| 2 鉄軌道などの交通機関   | 34.0% |
| 3 沖縄にしかないお店や商品 | 26.0% |
| 4 歴史・文化を感じる街並み | 21.2% |
| 5 より詳しい沖縄情報の提供 | 17.2% |
| 6 伝統的琉球料理の店    | 12.4% |
| 7 多様な宿泊施設      | 8.4%  |

出典：平成24年度観光統計実態調査

### 那覇～名護間の公共交通の状況

公共交通(バス)での那覇と名護間の移動は、時間や運賃の負担が大きく  
通勤や通学には大きな負担となっています。

那覇～名護	高速バス	路線バス(120番)
所要時間	約1時間30分	2時間40分～3時間
運賃	2,100円	1,900円
運行時間 (出発時間)	朝5時台～夕方6 時台	朝5時台～夕方8時 頃まで
運行本数	時間当たり1本～ 2本	時間当たり2本 ピーク時は3本

### 駐留軍用地跡地の有効利用

駐留軍用地の跡地において、県土構造の再編を視野にした総合的かつ  
効率的な有効活用が求められています。



1972年5月(写真提供：沖縄タイムス)

返還跡地である那覇市の小禄  
金城地区では、土地区画整理  
事業が実施され、ゆいしール  
小禄駅もでき、開発が進みました。



2005年4月(写真提供：沖縄タイムス)

■このような陸上交通の現状・課題に  
ついて理解できましたか？

※8ページのアンケート問2でお答えください。

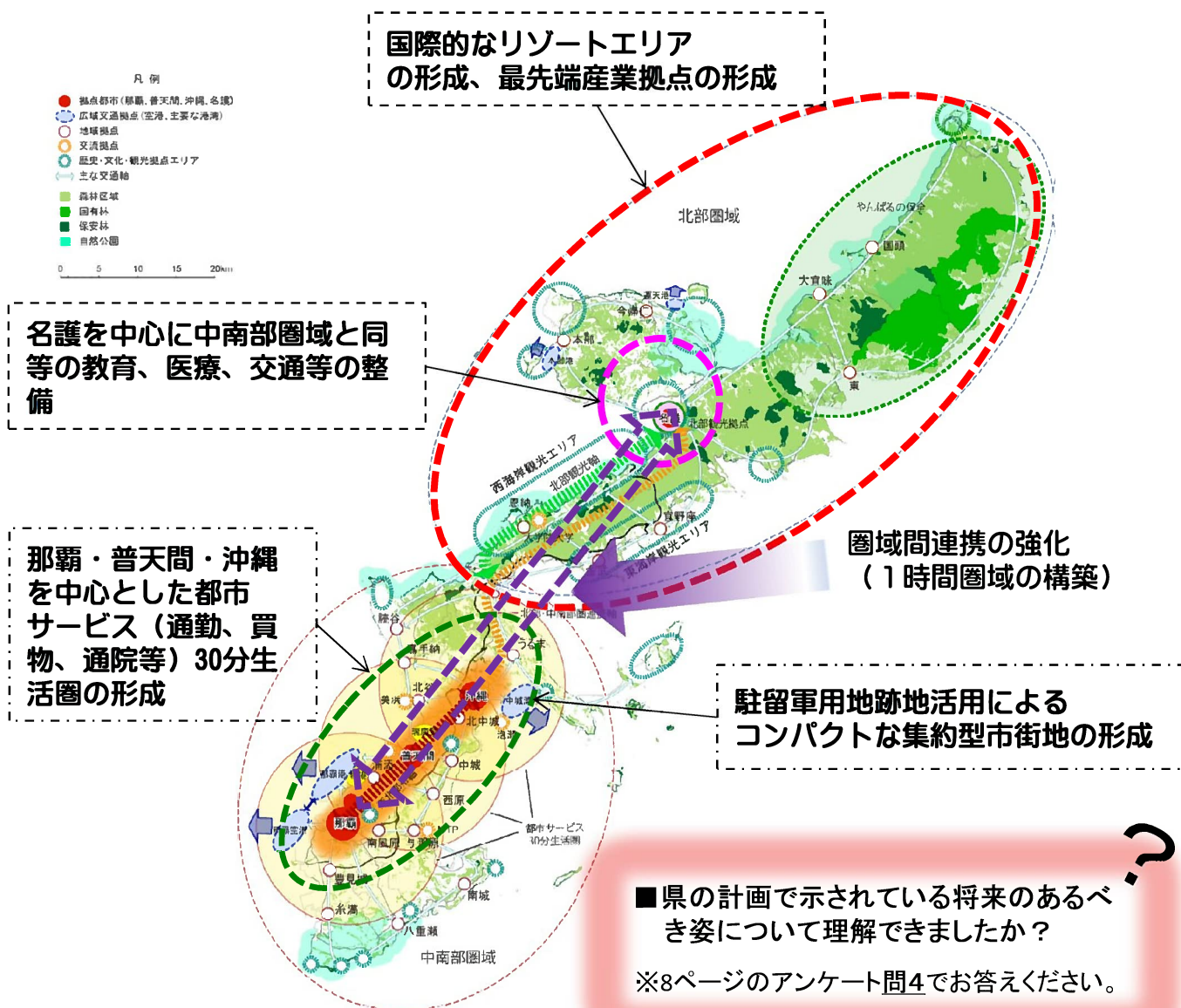
■陸上交通の現状を改善すべきと思っ  
ますか？

※8ページのアンケート問3でお答えください。

## 2. 将来のあるべき姿

沖縄本島の将来のあるべき姿(陸上交通のみ)については、「沖縄県総合交通体系基本計画」において、以下のように示されています。

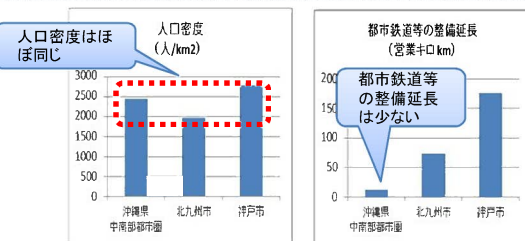
※「沖縄県総合交通体系基本計画」は、沖縄21世紀ビジョンを踏まえ、平成22年度から23年度にかけて、専門家、関係業界団体、市町村代表、利用者代表、行政機関から構成される委員会や、県民等の意見募集(パブリック・コメント)を通して検討され、平成24年6月に策定・公表されています。



注) 沖縄県総合交通体系基本計画から抜粋

～都市鉄道等の整備が少ない過密な中南部都市圏～

- 中南部都市圏は、狭小な地域の中に、全国政令指定都市(北九州市など)匹敵する人口約117万人の過密な都市圏を形成しています。
- その一方、他の人口密度の高い都市と比較すると、都市鉄道等の整備延長は短い状況です。



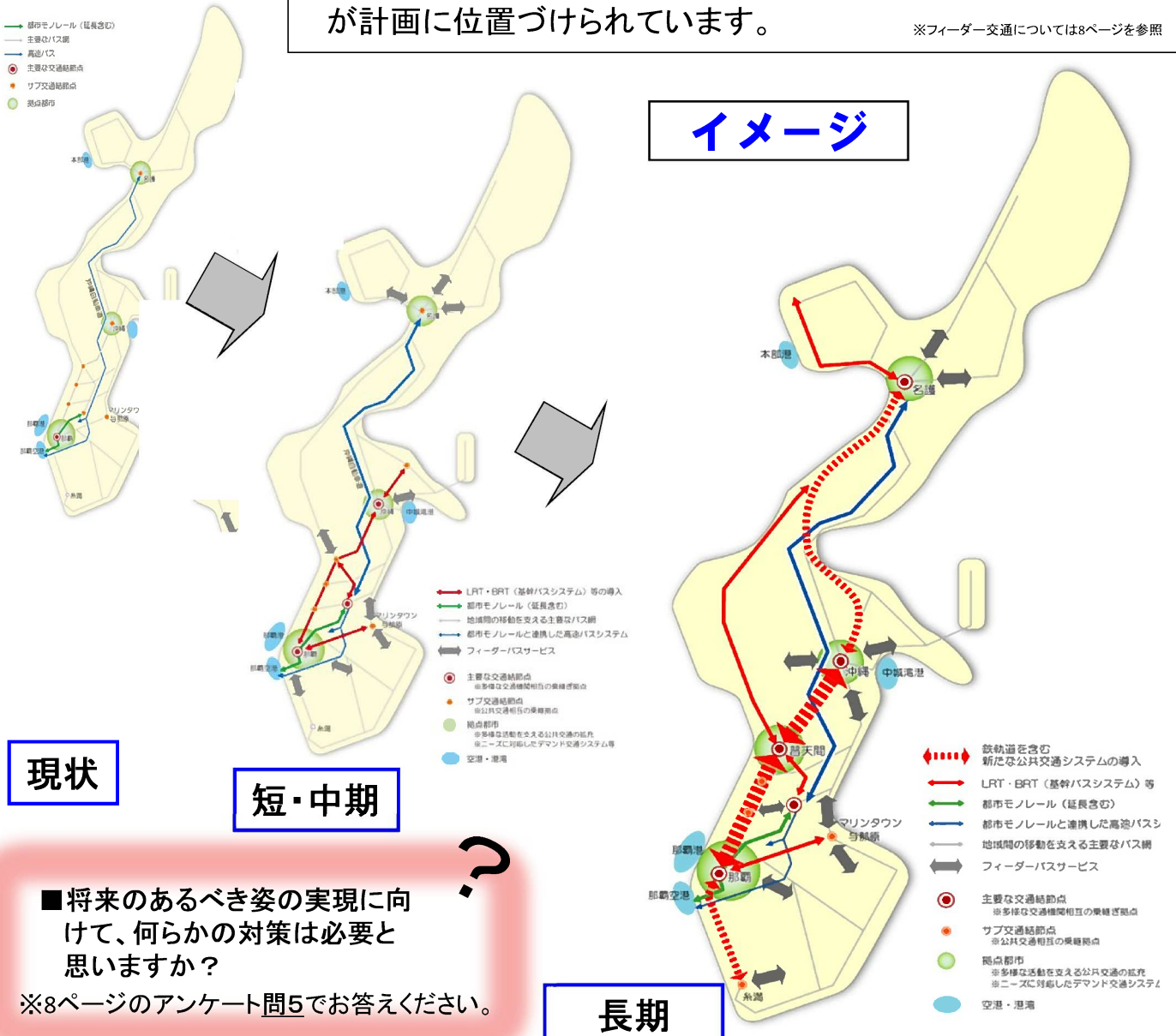
# 3. 将来のあるべき姿を実現するための対策イメージ

「沖縄県総合交通体系基本計画」では、将来のあるべき姿を実現するため、以下のような短・中期、長期の対策(施策)のイメージが示されています。

長期的な対策として、

- 拠点間を連絡する鉄軌道の導入
  - 鉄軌道と一体的にサービスするフィーダー交通※の導入
- が計画に位置づけられています。

※フィーダー交通については8ページを参照



～自動車による那覇市への通勤は約9割が一人乗り～

- 通勤のため那覇市へ向かう自動車のうち、92%が一人乗り車両となっています。
- 交通渋滞の緩和のためには、過度な自家用車利用から公共交通への転換が重要です。





## 4. 将来のあるべき姿を実現するための対策を考える場合の評価項目の設定

鉄軌道導入などの将来のあるべき姿を実現するための対策を検討するにあたっては、対策の実施による効果等について、評価項目を設定する必要があります。

- 将来像を実現するための対策は、1つではなく、複数の案が想定されます。
- その複数の対策案の中から適切な対策案を選ぶため、どの対策案がどの点で優れているか、または劣っているかを評価するための「視点」を決めておく必要があります。
- この評価の視点となるものを「評価項目」といいます。

### 評価項目の例

- 高齢者も外国人も安全・安心に移動できるか
- 地域間の交流が活発化するか
- 県民の歩く機会が増え、健康的な生活習慣になるか

- 観光客がわかりやすく時間通りに移動できるか
- 観光客の移動できる範囲が広がり、多くの観光地を訪れることが可能になるか

- 公共交通を利用する人が増え渋滞が緩和されるか
- 那覇市と沖縄市を約20分で移動できるか

- 駅ができることによりまちづくりの起爆剤になるか
- 人と環境に優しいコンパクトなまちづくりができるか

- 北部にもっと人が住むようになるか
- 通勤や通学できる範囲が広がるか
- 観光リゾート産業をはじめ 様々な産業が活性化するか

- 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量を減らせるか
- 地球温暖化を抑制できるか

■ 上記の評価項目の例も含め、  
どのような評価項目が必要とされますか？

※8ページのアンケート問6でお答えください。

### ★専門家からの一言★

- 公共交通の利用促進など、計画を進める上で必要な条件を、評価の前提として整理する必要がある。
- 人口流動の可能性など、定量的に図れない効果についても考慮すべき。
- 鉄軌道等の導入後のまちづくりが進んだ後の生活環境への影響等についても考慮すべき。



## コラム：基幹バス導入に向けた取組

○沖縄県では、利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた短中期的取組として、定時定速性が高く多頻度運行の基幹バスシステムを導入することとしています。

### ①バスレーンの延長



### ②上屋の設置など バス停のグレードアップ



基幹バスの導入に向け、次のような取組を進めています。



### ③ノンステップバスの導入



### ④IC乗車券システムの導入



OKICAは、定期券の機能を搭載したICカードです。

辺土名 ↔ 喜屋武

沖縄ICカード株式会社

#### OKICA よくあるご質問

- Q1. OKICAってどんなカードですか？**

**A** 沖縄都市モノレール(以下、ゆいレール)及び沖縄県内の路線バス(定期観光バス、リムジンバスを除く)で乗車券として利用できるICカードです。
- Q2. OKICAは他地域のIC乗車券として利用できますか？**

**A** できません。※Q1参照
- Q3. SUICA、PASMO等の交通系ICカードと相互利用できますか？**

**A** できません。
- Q4. SFとはなんですか？**

**A** OKICAのようなプリペイドカード(現金預払いカード)には電子的な料金情報が蓄積されており、ゆいレールやバスを乗降する際、カードを専用機器にかざすことで、精算処理(決済)する仕組みのことをSF(ストアードフェア)といいます。
- Q5. チャージ(入金)とはなんですか？**

**A** OKICAには、カード内へ入金できる機能(ICチャップ)が搭載されており、専用の機械を使って入金することをチャージといいます。入金残額が少なくなった場合も繰り返しチャージが可能です。
- Q6. OKICA乗車券とは別にデポジット(500円)の返金がありますか？**

**A** 発行価格に含まれておりますので、別途に支払うことはありません。**※再発行1,000円+デポジット500円+チャージ額500円**
- Q7. デポジット(500円)は返金されますか？**

**A** 返金されません。  
※紛失した場合は返金されません。  
※カード障害の原因がお客様にある場合に限る。デポジット500円は返金されません

**1** モノレールチャージ

**2** のりこしも、改札機や運賃箱の自動精算でスムーズに

**3** 同じカードにチャージ(入金)して

**4** 紛失の心配も



# 公共交通ネットワークについて

- 公共交通は、鉄軌道のみだけでなくネットワークとして検討する必要があります。
- ステップ3において、鉄軌道等と結節するLRTやバスなどのフィーダー交通ネットワークについて検討します。
- 検討にあたっては、現在のバスの利用状況や人口の集積状況、土地利用状況、市町村のまちづくり計画等も踏まえて検討します。



LRT



基幹バス(BRT)



※1) LRT (Ligh Rail Transit) は、Light Rail Transit の略で、低床で乗り降りしやすい、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴をもつ次世代の軌道系交通システムです。

※2) BRT (Bus Rapid Transit) は、Bus Rapid Transit の略で、低床化されている連節バス等と、バス専用道、バスロケーションシステム(バス位置管理システム)等を組み合わせることで定時性、速達性を確保するバスシステムです。

※フィーダー交通とは？

幹線と接続して支線の役割をもって運行されるLRTや基幹バス(BRT)、路線バス等のことです。

## 今後の予定

(予定は変わることがあります)

- ・5月中旬から皆さまのご意見を募集する予定です。
- ・また、パネル展示(39箇所)や説明員を配置したオープンハウス、県民会議を開催します。

## パネル展示 実施スケジュール

公共施設	2015年5月11日～15日(主に北部)	道の駅くみがみ、道の駅おおきみ、東村役場、今帰仁村コミュニティセンター、本部町役場、名護市役所、宜野座村役場、恩納村役場、金武町役場、健康福祉センターうるみん、名桜大学、
	2015年5月18日～22日(主に中部)	読谷村役場、嘉手納町役場、沖縄市役所、北谷町役場、北中城村役場、吉の浦会館(中城村)、宜野湾市役所、沖縄国際大学、沖縄大学、モノレール県庁駅前(18～24日)
	2015年5月25日～29日(主に南部)	浦添市役所、西原町役場、与那原町役場、那覇市役所(25日～27日)、南風原町役場、南城市大里庁舎、八重瀬町具志頭本庁舎、糸満市役所、豊見城市役所
商業施設	2015年5月10日～16日	道の駅許田 交通情報センター内
	2015年5月15日～19日	イオン名護(16日午後、18日午後オープンハウス)
	2015年5月20日～24日	イオン具志川、サンエー西原シティ(20日、23日午後オープンハウス) サンエー経塚シティ(20日、23日午後オープンハウス)

ご意見・ご質問・お問い合わせはこちらへ！

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
 沖縄県企画部交通政策課  
 電話:098-866-2045 FAX:098-866-2448  
 メールアドレス info@oki-tetsukidou-pi.com  
 (沖縄鉄軌道構想段階PI)  
 ホームページ <http://www.oki-tetsukidou-pi.com>



沖縄 鉄軌道 検索

●募集期間:平成27年5月中旬～6月上旬(予定)

みなさまの声を今後の検討に反映させていただくため、以下のアンケートにお答えの上、左記まで郵送、FAX、電子メールにてお送りください。(ホームページ、スマートフォンでは直接入力ができます)

郵送の場合は、下記を切り取り、封筒に貼り付けてください。当方で送料を負担します

郵送、FAXの場合は、下記を切り取りご利用ください。

## アンケート

料金受取人貼付欄

901-2190 430

430

郵便番号 430

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

沖縄県企画部交通政策課  
 「沖縄鉄軌道・計画案づくりPI係」  
 (有)沖縄マーケットプランニング内) 行

有効期間  
 平成28年  
 3月31日まで

【居住地】 県 市・町・村

以下の内容について、○をつけて下さい。

【性別】男 女 【年齢層】10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～

【問1】沖縄県が、鉄軌道導入の取組を行っていることについて

1. 今回知った 2. 以前から知った

【問2】陸上交通の現状や課題について(3ページ参照)

1. 理解できた 2. ある程度理解できた 3. あまり理解できなかった。 4. 理解できなかった。

【問3】陸上交通の現状を改善すべきだと思いますか？(3ページ参照)

1. 思う。 2. ある程度思う 3. あまり思わない 4. 今のままで良い。

【問4】県の計画で示されている将来のあるべき姿について(4ページ参照)

1. 理解できた 2. ある程度理解できた 3. あまり理解できなかった。 4. 理解できなかった。

【問5】将来のあるべき姿の実現に向けて、何らかの対策は必要だと思いますか？(5ページ参照)

1. 思う。 2. ある程度思う。 3. あまり思わない。 4. 思わない

【問6】どのような評価項目が必要だと思いますか？(6ページ参照)

【問7】その他ご意見・ご要望など(自由にお書きください)